

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 11月13日
留学先大学/国名	ヴェネツィア大学 (日本語名) 国名:イタリア Universita Ca' Foscari(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年9月～2026年2月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部・国際日本学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

留学体験記やネット上の記事を読み漁りました。また、以前留学されていた先輩に連絡したり、イタリアンレストランの先輩のつてを使って、実際にヴェネツィア留学をした方に相談をしました。渡航前は初日に寮まで行くルートさえ完璧に調べておけば良いと思います。正直、現地に来てから生まれる疑問は、渡航前には思いつかなかったからです。あとは、Buddy制度を利用して、イタリア人の知り合いを作つておいたのは良い準備だったと思います。初日から沢山助けてもらいました。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: D	申請先: Ambasciata d'Italia a Tokyo
ビザ取得所要日数: 2週間 (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用:
1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?	
東京にあるイタリア大使館で申請をおこなったので、東京の大使館の HP にある交換留学用のチェックリストに載っている書類を全て揃えました。	
2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。	
①大使館のビザ申請予約ページから、予約をする(書類が揃ってなくても予約したほうがいいです。予約が全然取れませんでした。私は朝7時ごろに予約が取れました。) ②書類を揃える ③申請しに行く ④2週間後にビザを受け取りに行く	
3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
なかったです。	
4. ビザ取得に関して困った点・注意点	
困ったこと:とにかく予約が取れなかつたことです。書類が揃ってなくても予約はするほうが良いです。また、私は後回しにしそうで Universitaly を通して出願した証明書が必要ということを知らず、2,3日前に国際電話で対応してもらつたりなど、かなりドタバタしてしまいました。早め早めの行動をおすすめします。	

注意点: パスポートサイズの写真は、背景が白色なので気をつけてください。住民票は1週間以内に取得したものでないとダメです。住居の証明書は、Housing Office を通してメールでやり取りした契約書を印刷したものを持ちました。「入学許可証は原本でないといけない」と記載しているサイトもありますが、大使館のリストには原本と書いていなかったので、原本ではなく送られてきた PDF を印刷しました。英文ビザ発給依頼書と交換留学協定書のコピーは明治大学にお願いしました。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

もう少し英語の専門用語を学んでおけばよかったと思いました。私は英語が得意でない方の人間なので、なおさら勉強するべきだったと後悔しています。英語開講の授業は、先生がイタリア語訛りだったり、専門用語をがっつり使用していたりと、思っていたよりも聞き取るのが難しく、フォローが大変でした。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ANA			
航空券手配方法	ANA ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入			
大学最寄空港名	マルコ・ポーロ空港		現地到着時刻	10:45
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	1 時間 15 分			

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

Venezia は石畳で橋も多いので、アパートに到着するまでの道中は、駅の Ki Point にスーツケースを預けることをお勧めします。私の場合、荷物一つにつき 6€ でした。

大学到着日 9月 19 日 13 時頃

2. 住居について

到着後すぐに住居入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:	月	日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()			
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()			
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()			
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()			

住居の申込み手順 Housing office からのメールにあるリンクからサイトに飛んで、目星をつけて再度 Housing office にメールを送りました。しかし、返信が非常に遅く目星の部屋は埋まってしまったよう、「ここしか残っていない」と高い部屋を提案されました。ビザを取る前にいち早く部屋を見つけたかったため、その部屋を選び契約書をメール上で送り部屋を確保しました。

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか? ドラブルはありましたか?

私は、ビザを取る前になんとか部屋を確保しなければ…と暴挙に走ってしまいましたが、入学許可証にも大学が部屋を保証すると書かれているので、焦らずに納得できる部屋を取るをお勧めします。日本語学科の先生の繋がりで部屋を見つけている人も多くいたので、もし渡航後に部屋を探す人は、ぜひ日本語学科の授業に参加して先生に相談するといいと思います。私は非常に高額を払うことになってしまったのですが、いざ現地に着くと、私より好条件の部屋を現地で見つけている人も沢山いたので、そこまで焦らなくても良かったのではないかと思いました。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
日程	9/18
参加必須ですか?	<input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	その日に到着予定だったため参加できませんでした。参加せども、友達はできるので安心してください。
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかつた
授業開始日	9月 30 日から

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

必要です。一応到着してから 7 日間以内に申請しなくてはなりません（私は 2 週間以内程度で完了しました）。料金は、申請書に貼らなくてはならない小切手 16€と、申請時に支払う約 70€（これは大学の permesso di soggiorno のページにあります）の約 90€です。申請書の kit をなかなか受け取れなく、私はかなり焦りましたが、今思うとそこまで焦らなくていいと思います。また、venice の大きな郵便局は kit がある可能性が高いので、非常に混雑していますが、ここに行くことをお勧めします。間違えてしまうと書き直す必要があるので、間違えないように丁寧に記入しましょう。

2. その他現地でした手続は（健康診断、予防接種等）？いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

unica カードの発行です。piazzale roma という大きなバスターミナルがあるのですが、その付近にある unica 窓口で作りました。毎月更新しなくてはなりませんが、mestre に住んでいる人は毎日バスを使うので、買うべきだと思います。更新は自販機でできます。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設していません。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

携帯は日本で買ったものをそのまま使いました。インターネット回線は、現地の日本人に薦めていただき liad という会社を選びました。mestre の大きなショッピングセンターに行けば、英語で対応してくれるので非常に便利です。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(7月　　日頃)
オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(10月　　日頃)
オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることありましたか？

あった なかつた

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

私は、留学生用の授業ばかり履修したので、特に優先されたかどうかはわかりませんでした。メールで incoming mobility に送信するという形でした。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

変更・追加は柔軟に対応してくれます。SIE 科目は人気ですが、抽選に外れた人は waiting list に追加され、2週間後に繰り上げて参加できるという形式でした。なので、かなり希望通りの授業を取ることができました。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00	起床	起床	起床	起床			
8: 00			自由会話		起床	起床	起床
9: 00			自由会話				
10: 00	授業	授業	散歩	授業	家事	観光	家事
11: 00	授業	授業		授業	買い物		
12: 00		授業	授業				
13: 00	復習	授業	授業				
14: 00		自由会話	散歩	自由会話	友達と会う		友達と会う
15: 00	授業	自由会話		自由会話			
16: 00	授業	友達と会う	復習	授業			
17: 00	授業		復習	授業			
18: 00	買い物		復習	自由会話			
19: 00	帰宅	帰宅	帰宅	自由会話	帰宅	帰宅	
20: 00				帰宅			
21: 00							
22: 00							
23: 00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

最初の 1-2 週間は、ワクワクした気持ちもありつつ、これまで訪れたことのない土地で 1 人で生活の基盤を作ることに大きな不安感を抱いていました。イタリア語はもちろん英語力も自信がないし、頼れる人も buddy 制度で知り合った友達しかいない、イタリアのアパートは日本と比べると不便だし、バス・電車の乗り方もスーパーでの買い物の仕方も異なる…と、今思うとかなり病んでいたかも知れません。ですが、授業が始まり日本人の知り合いが増えていくと同時に、日本語学科の現地学生との交流も増え、たくさんの友達ができていくと、そんな不安はどこかへ消え去りました。やはり、日本語学科の授業のボランティアがあったために、この留学生活の充実度が変わったように感じます。友達ともっとスムーズに話せるようになりたい！という気持ちがあつたからこそ、英語の会話力が向上したりイタリア語の勉強が捲ったりしたのだと思います。もともと、せっかくなら 1 人で沢山旅行をするぞ！と思っていましたが、思いの外お金がかかることに気づき、まずは venice 周辺を攻略しています。なので、今は旅行よりも友達と会うことに重きを置いて、毎週どこかに行ってお話をすることにしています。若いうちに色々な国に行くのも貴重な経験ですが、旅行は何歳になってもできます。でも、現地でできた友人とただただ会ってお話しすることは、今しかできない非常に貴重な経験だな…と最近痛感しています。